

令和8年
3月1日号
広報
No.784

あきる野

今号の主な記事など

- 東秋留駅南口車両折り返し場の供用開始…3面
- 秋川溪谷瀬音の湯 入浴、宿泊施設利用料金の改定…3面
- 減免世帯へ指定収集袋を交付します…4面



令和8年度 施政方針

生き活きと暮らしていけるまちづくり



令和7年3月に行った移住・定住
コンシェルジュ委嘱式

※移住・定住コンシェルジュには、移住相談、イベントやセミナーへの参画、市の移住情報サイトやガイドブックにおける「移住者インタビュー」などにご協力いただいています。

2月16日の令和8年あきる野市議会第1回定例会で、中嶋市長が施政方針を発表しました。(原文掲載)

令和8年あきる野市議会第1回定例会3月定例会議の開催に当たり、令和8年度の施政方針を申し述べさせていただきます。

私は市長に就任以来「すべての市民が、生き活きと暮らしていけるまちづくり」の実現を目指して市政運営に当たってまいりました。

今日に至るまで、生産年齢人口の増加と移住・定住施策の実施、子育てしやすいまちづくり、公共交通基盤の充実、武蔵引田駅北口地区及び秋川高校跡地の基盤整備など、私が目指すまちづくりを実現するための施策に取り組み、着実に成果を上げてまいりました。

令和8年度は、市制施行30周年記念事業を通じて醸成した、市民との一体感を更に高め、未来に向けて飛躍するための第一歩を踏み出す年です。

そのために、自治体としての「稼ぐ力」を付けて市の財政基盤を強固なものとし、「推し進める力」を高めて地域課題を解決すべく、全力を尽くしてまいります。

それでは、第2次総合計画等を踏まえた6つの基本施策について申し上げます。

①生産年齢人口の増加に向けた取組

はじめに、生産年齢人口の増加に向けた取組についてであります。

生産年齢人口の減少は、地域の労働力不足や消費市場の縮小、税収の減少等につながります。地域の活力を維持し財政を安定させ、持続可能なまちづくりを進めていくためには、生産年齢人口の増加が極めて重要であります。

このため、移住・定住や子育て支援の取組をより一層充実させてまいります。

本市における積極的な移住・定住の取組は、西多摩地域にも波及し、都心部にも広がるムーブメントを起こしております。この動きを止めることなく、更に前進させてまいります。

移住・定住の取組を通じて、本市に移住を決めた方の多くは、オーダーメイド型市内案内が大きな「決め手」となっております。この取組を更に強化するため、市内案内実施後に電話やメール、アンケート調査などにより、移住希望者の率直な気持ちを把握して継続的な働きかけを行ってまいります。また、移住後の生活環境の不安を解消するため、先輩移住者である移住・定住コンシェルジュに御協力いた

き、生活のリアルを知っていただく機会を創出してまいります。さらに、定住化を促進するため、移住後のフォローアップとして移住交流会を実施するとともに、移住者を含めて広く市民に、あきる野市に住んで良かった、住み続けたいと思っていただけるように、市の魅力や身近な暮らしの情報をSNS等を通じて積極的に発信してまいります。

子育て支援の取組につきましては、あきる野市で子育てがしたい、子育てをして良かった、子どもがもう一人ほしいと思ってもらえるよう、母子の健康に関する支援や保護者の経済的負担の軽減、子どもの進学の支援などに取り組み、子育てしやすい環境を整えてまいります。

出産して間もない時期の母子を支援するため、東京都内共通受診方式による費用助成制度として産婦健康診査と1か月児健康診査を実施いたします。また、希望する全ての産婦が産後ケア事業を利用できる体制を整備するため、実施施設の改修費等を支援してまいります。

0歳から2歳までの未就園児と、その保護者を支援するため、こども誰でも通園制度として乳児等通

園支援事業を実施し、子どもの社会性や情緒的な発達の促進と子育ての負担軽減、孤立の解消につなげてまいります。

乳幼児の健康診査につきましては、言語の理解能力や社会性が高まる時期にある5歳児の健康診査を新たに実施いたします。また、3歳児健康診査において視力検査の二次評価を実施するため、視能訓練士を配置いたします。

学童クラブ事業につきましては、きょうだいで入所する家庭の保護者負担を軽減するため、育成料に多子世帯減免を導入いたします。

子どもの学習・生活支援事業につきましては、宿題などの学習面や生活面に関するサポートを行い、より広い世代の子ども自立と成長を支えていくため、小・中学生であった対象者を高校生年代まで拡大いたします。

3月には、全ての子どもと若者を主役に据えたあきる野市こども計画の策定を予定しております。策定に当たりましては、多くの子どもや若者にも直接意見を聴き、アンケート調査に御協力をいただきました。今後も、子どもや若者などの意見を尊重し、計画に示すライフステージごとの支援に取り組んでまいります。

②都市整備の推進と地域防災力の強化

次に、都市整備の推進と地域防災力の強化についてであります。

人口減少や社会構造の変化などに対応し、地域の将来像の実現に向けて、持続可能なまちづくりを積

極的に推進してまいります。

武蔵引田駅北口土地区画整理事業につきましては、地域の玄関口となる駅前広場が完成し、供用を開始いたします

2面につづく